耕作条件の厳しいリアス式海岸の農地を地域全体で保全

岩手県大槌町 小槌地区

農業を担う者数 (担い手)	11経営体	農地面積 (うち農振農用地)	85ha (85ha)	主な農畜産物	稲・露地野菜・肉用牛
農業地域類型	山間農業地域	遊休農地	0ha	現状の集積率 (目標)	17% (40%)



地域の現状と課題

- 若手後継者が少なく、担い手不足が著しい。
- ニホンジカ等による農作物の食害被害が多い。
- 機械も転回できないような狭隘狭小な農地が点在しているた め、農地の集積や作業の効率化も難しく、トラクターや車両が 進入できる農道が整備されていない場所もある。
- 畜産農家は堆肥の処分に困っており、水稲・野菜農家は町外 から堆肥を購入しており、町内で循環できる仕組みがない。
- 地域の一部においては、中山間直接支払制度や多面的機能 支払制度を活用し、農地の保全活動に取り組んでいる。
- 農地保全や鳥獣被害対策等に取り組む地区営農組合が令和 4年3月設立され、農業を担う者として活躍が期待されている。

将来の地域農業の方向性

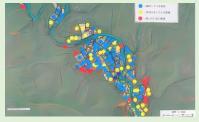
- □ 花巻農協が産地化を進めるピーマンや産直施設での引き合い が強い高収益野菜を主要作物とし、ワラビや山椒等、中山間 地域の特性を生かした特産品の生産及び6次化に取り組む。
- □ 所有者が離農し、その後の活用を希望する農地については、 立地及び耕作条件を鑑みたうえで、農事組合法人や営農組合 等への集積や集約化を進め、場合によっては、定年帰農者や 地域外の農業者を受け入れ、地域全体で利用する仕組みの 整備を進める。

協議を進める過程で発生した課題

第1回ワークショップでは、現況地図に今年作付けし た農地は青、草刈した農地は黄色、何もしなかった 農地は赤のシールを貼り、耕作状況を見える化し、 守っていく農地の共通認識ができた。



現況地図にシールを貼っている様子



取組経緯(課題への対応)及び今後の予定

- ▶ 地域計画策定準備説明会(7月21日)
 - ・町広報を活用し、参集者の掘り起こしを実施
 - ・中心経営体や農業委員等19名に、地域計画や協議の進め方等を説明
- ▶ 第1回ワークショップ(10月4日)
- ▶ 第2回ワークショップ (12月26日)
 - -農業者等17名は地域計画(案)について検討
 - ・あわせて、農業を担う者や地域計画の目標達成 に向けた重点的な取組をリストアップ
- ▶ 協議の場の結果の取りまとめ・公表(1月12日)
- ▶ 地域計画(目標地図を含む)案の作成(1~2月)
- ▶ 地域計画の策定・公告(4月16日策定)



計画案を赤ペンで修正している様子